

公共政策学科

				a	b	c	
学部ディプロマ・ポリシー				社会学または公共政策学の領域における専門的な知識や技術を修得し、社会における諸問題を把握・解決するために、その知識・技能を活用することができる ①社会学または公共政策の領域に必要な基礎的な知識や視点を修得している ②社会学または公共政策の領域の深い知識や技能を修得している ③社会学または公共政策の領域の情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現することができる ④社会における問題を把握し、解決に必要な情報を収集・分析し、表現することができる	社会の一員としての意識を持ち、自らを律し、他者と協調・協働することで、社会学または公共政策学の領域で身につけた知識や技能等をもとに、社会に貢献することができる	目的や目標をもって生涯にわたり主体的に学び続け、自らの振り返りによりそれまでの体験・実践・身につけた多様な能力を統合することができる。あわせて、他者と協働的に学び、ともに成長することができる	
系列区分	授業科目	単位	履修開始 セメスター				
専門科目	学部基礎科目	現代社会論	2	2	◎		○
		公共性と社会	2	1	◎	○	○
		現代思想	2	1		○	◎
		環境社会システム論	2	1	◎	○	
		現代日本社会史	2	2	○		◎
		現代市民論	2	2	○		◎
		20世紀の歴史	2	1			◎
学科ディプロマ・ポリシー				公共政策学の領域における専門的な知識や技術を修得し、社会における諸問題を把握・解決するために、その知識・技能を活用することができる ①社会、特に地域社会の課題に取り組むために、公共政策の領域に必要な政治学、経済学、法学および関連する学問に関する基礎的な知識や視点を修得している ②地域社会の担い手としての自覚をもって地域の課題に積極的に取り組む意志と実行力を備えるために、公共政策の領域の深い知識や技能を修得し、活用できる ③己を見つめる力、自分の考えを伝え他者の考えを理解する力、他者を尊重しともに行動できるよう、公共政策の領域の情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現することができる ④社会、特に地域社会における問題を把握し、解決に必要な情報を収集・分析し、表現することができる	社会の一員としての意識を持ち、自らを律し、他者と協調・協働することで、公共政策学の領域で身につけた知識や技能等をもとに、社会に貢献することができる	目的や目標をもって生涯にわたり主体的に学び続け、自らの振り返りによりそれまでの体験・実践・身につけた多様な能力を統合することができる。あわせて、他者と協働的に学び、ともに成長することができる	
系列区分	授業科目	単位	履修開始 セメスター				
学科基礎科目	学部基礎科目	アカデミック・スキルズ	2	2	◎	○	○
		公共政策学(概論)	2	3	◎	○	
		公共政策学(各論)	2	4	◎	○	○
		法学入門1	2	1	◎	○	○
		法学入門2	2	2	◎	○	○
		経済学入門1	2	1	◎		
		経済学入門2	2	2	◎		
		公共政策学特殊講義1	2	3	◎	○	
		公共政策学特殊講義2	2	4	◎		
		公共政策学外国文献研究1	2	3	◎	○	
		公共政策学外国文献研究2	2	4	◎		
		公共政策学講読	2	3	◎	○	○
		公共政策学フィールドワーク入門	2	3		◎	○
		公共政策学フィールドワーク実習1	1	5		◎	○
		公共政策学フィールドワーク実習2	1	6		◎	○
	共通	公共政策学ゼミ1	2	5	◎		○
		公共政策学ゼミ2	2	6	◎		○
		公共政策学卒業研究ゼミ1	2	7	◎		○
		公共政策学卒業研究ゼミ2	2	8	◎		○
		卒業レポート	4	8	◎		○



# 公共政策学科

学科ディプロマ・ポリシー				a	b	c
				公共政策学の領域における専門的な知識や技術を修得し、社会における諸問題を把握・解決するために、その知識・技能を活用することができる ①社会、特に地域社会の課題に取り組むために、公共政策の領域に必要な政治学、経済学、法学および関連する学問に関する基礎的な知識や視点を修得している ②地域社会の担い手としての自覚をもって地域の課題に積極的に取り組む意志と実行力を備えるために、公共政策の領域の深い知識や技能を修得し、活用できる ③己を見つめる力、自分の考えを伝え他者の考えを理解する力、他者を尊重しともに行動できるよう、公共政策の領域の情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現することができる ④社会、特に地域社会における問題を把握し、解決に必要な情報を収集・分析し、表現することができる	社会の一員としての意識を持ち、自らを律し、他者と協調・協働することで、公共政策の領域で身につけた知識や技能等をもとに、社会に貢献することができる	目的や目標をもって生涯にわたり主体的に学び続け、自らの振り返りによりそれまでの体験・実践・身につけた多様な能力を統合することができる。あわせて、他者と協働的に学び、ともに成長することができる
系列区分	授業科目	単位	履修開始 セメスター			
関連科目	日本史概論	2	1	○		
	東洋史概論	2	1	○		
	西洋史概論	2	1	○		
	日本史特論	2	2	○		
	人文地理学1	2	3	○		
	人文地理学2	2	4	○		
	自然地理学1	2	3	○		
	自然地理学2	2	4	○		
	地誌学1	2	3	○		
	地誌学2	2	4	○		
	法律学概論1	2	1	○		
	法律学概論2	2	2	○		
	哲学概論	2	2	○		
	宗教学概論	2	1	○		
	倫理学概論	2	1	○		
	政治学概論	2	1	○		
	経済学概論	2	1	○		
	社会学概論	2	1	○		
	公務員演習1(数的推理・判断推理)	2	3	◎		
	公務員演習2(文章理解・資料解釈)	2	3	◎		
	公務員演習3(社会・人文・自然)	2	3	◎		
	中小企業論	2	3	○	○	
	プロジェクト演習	2	3		◎	◎
	異文化理解	2	3	○		○
	グローバル化論	2	3	○	○	
	コミュニケーションと社会	2	3	○		○
	共生の社会学	2	3	○		○
	グローバル人材PBL	2	5		◎	◎
	社会調査論1	2	3	◎	○	
	社会調査論2	2	4	◎	○	
	社会調査法演習1	2	5	○	△	△
	社会調査法演習2	2	5	○	△	△
	基礎統計学1	2	3	○		
	基礎統計学2	2	4	○		
	データ解析演習	2	6	○		○
	調査研究演習1	2	5	○		○
	調査研究演習2	2	6	○		○
	調査研究演習3	1	5	○		○
	国際政治学	2	1	○		
	NPO法人マネジメント論	2	3	○	○	○
民法概論	2	5	○			
労働法概論	2	5	○			
刑法概論	2	5	○			
京都の産業	2	3	○	○	○	
日本仏教史(古代・中世)	2	1	○			
日本仏教史(近世・近代)	2	2	○			
中国仏教史	2	2	○			